

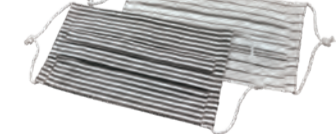
ふみだそう。新たな一歩を。あだちから。



マーヤで製造する医療用ガウン。コーティングした不織布を縫製。モデルは正さんのお母さんで恵さん

photo by Tagaya Hiroshi

(株)マーヤ工場長 菅谷正さん
つけているのが「あだち産マスク」(春夏用)



▲現在は秋冬用マスクをオンライン販売中。1枚700円×3枚セット(フリーサイズ、税別、送料別)

(株)マーヤ
▲足立区椿2-8-5 ☎03-3899-5975



「自分でできることを何かやりたい」。誰もがそう感じている2020年の春。マーヤは「あだち産」のネーミングとともに「マスク」と「ガウン」という直球で、地元新聞やテレビで何度も取り上げられた。すると活動を地元の人がたが「めっちゃくちゃ喜んでくれた」という。「地域に恩返しできたのもうれし」と正さん。「マスクも医療用ガウンも近年では他国でつくられており、緊急時になさすべがなかった。この機会に東京、足立のものづくりが注目されたいなと思いをします」。マスクの企画、販売を通じて地元の人や企業とたくさんつながり、たくさん学び、自信をつけた正さんは、今、メンズ自社ブランドとして一歩をふみだそうとしていく。

同じ時期、医療用ガウンの不足が取り沙汰されていた。社長が常務理事を務める東京洋装協同組合に国から問い合わせがあり、組合として請け負うことを決めた。中でも2工場を有し24人の職人を抱えるマーヤは、この仕事に最優先で取り組むことに。生産が落ち込み始めた婦人服と入れ替わるように受注したガウン製造。職人たちは使命感を持ってがんばってくれた。

「自分ができることを何かやりたい」。誰もがそう感じている2020年の春。マーヤは「あだち産」のネーミングとともに「マスク」と「ガウン」という直球で、地元新聞やテレビで何度も取り上げられた。すると活動を地元の人がたが「めっちゃくちゃ喜んでくれた」という。「地域に恩返しできたのもうれし」と正さん。「マスクも医療用ガウンも近年では他国でつくられており、緊急時になさすべがなかった。この機会に東京、足立のものづくりが注目されたいなと思いをします」。マスクの企画、販売を通じて地元の人や企業とたくさんつながり、たくさん学び、自信をつけた正さんは、今、メンズ自社ブランドとして一歩をふみだそうとしていく。

3月。マスクが店頭から消えていた。ある日、千葉の老人ホームからマスクは作っていませんか？と電話が入った。「やらないですー」そう答え電話を切った。が、気になった。婦人服の縫製を手がけるマーヤは、当時まだ通常の繁忙期にあつたので、電話を受けた正さんが個人的にマスクを縫って送ってみたい、思いのほかとても喜んでもらった。いつの間にか手伝う社員が増え、以降、仕事の合間に縫っては、地域の老人ホームにも寄附した。が、ボランティアを続けていると正直、疲弊してくる。思い切って、販売に乗り出した。その名も「あだち産マスク」。表地は、マーヤが使用するシャツ用の国産綿素材。裏地には、足立区の旭染工場から購入した白の手ぬぐい生地を使用。なめらかでさらさらとした肌触りと、何より出どころのはっきりした「あだち産」というネーミングを受けて、たくさんの方に買っていた。これまでは縫製のみを行ってきたので、販売にあたっては同じ足立ブランド先輩の(有)三幸社長や、(株)しまや出版社長にたびたび相談に乗ってもらったという。

日本からマスクが消えた

あだちのガンバル企業写真展

あだちには魅力的な店や会社がたくさんある。東京都写真館協会足立支部有志と足立成和信用金庫のコラボ企画「あだち★元気つながるプロジェクト」より、区内23社のガンバル企業を紹介。足立区の写真家たちが思いを込めたモノクロ写真に、元気をもらいに行こう。

3か所を巡回展示します！
10/24(土)～10/29(木) 足立区役所
10/30(金)～11/8(日) アリオ西新井
11/10(火)～11/16(月) JR北千住駅南口コンコース

主催：足立区シティプロモーション課
協力：足立成和信用金庫、東京都写真館協会足立支部、アリオ西新井、JR北千住駅



左から【写真柳下】柳下勉さん・河内尚子さん【田賀写真館】田賀谷浩さん【谷写真館】谷友里江さん【須賀写真館】須賀雅人さん【足立成和信用金庫】大井善広さん・松尾素子さん

あだちから新聞 VOL.1 令和2年11月発行 編集：足立区広報室シティプロモーション課 発行：足立区 千120-8510 足立区中央本町1-17-1 ☎03-3880-5803
この新聞に登場いただいた皆さまには、写真撮影のときのみ、マスクをはずしていただきました。情報はすべて令和2年10月現在のものです。



Made in あだち

Beyond COVID-19

2020年春夏、あだちから、さまざまなグッズが生まれた。コロナ禍を乗り越えようと知恵を絞った各社のアイデアを見てみよう。

①金額(税別) ②購入方法・購入できる場所など ③企業名 ④業務内容 ⑤連絡先

Stay Home中の家族仲が良くなる？！

カードゲーム「ほめじょーず」

東京未来大生とコラボして制作。ほめ合うゲームです。

①2,500円 ②東急ハンズ(全店)、webショップ (株)しまや出版 ③印刷全般、個人誌も製作 ④足立区宮城 2-10-12 ☎03-5959-4320

アイデアで勝負！印刷業界若手チーム YAP

～ Young Adachi Printers ～

新型コロナウイルスを契機に新たな活動をスタート。WITH US ブランドで様々なグッズを製作しています。
https://with-us.stores.jp

- 手作り風鈴キット**
高橋印刷荷札(株) 足立区西新井3-20-12
- マスクケース**
(株)ニットク 足立区本木南町3-9
- WITH US ステッカー**
左：(株)エイジ 足立区倉入 6-6-25
右：(有)エイケイマーク製作所 足立区入合 1-13-7
- 紙製マスクケース**
(株)丸庄 足立区千住 4-16-12
(有)菅原製本所 足立区中央本町1-20-25
- オリジナルマスク**
(株)東京巧版社 足立区千住旭町2-8

上記についての問合せ先
YAP 事務局【(株)エイジ】
☎03-3899-0575

シンプルデザインでさりげなく

アクリルタッチレス

①1,455円 ②STORES-フィンガーブラスで検索 ③(株)オーエム ④樹脂精密切削及び自社製品製造販売 ⑤足立区ツ家 3-24-23 ☎03-3884-1333

タッチレスフック

エレベーターのスイッチ、バスや電車のつり革 生活の中でちょっと気になる部分を直接触らずにすむ便利グッズです。

ちょっとパUNKなデザイン？

イチコロフック

①3,400円 ②yahoo ショッピング、メルカリ ③坂本技研製作所 ④金型、プレス加工、NC 彫刻 ⑤足立区宮城 2-9-12 ☎03-3919-5924

廃材から生まれた救世主。カラフル！

タッチレスフック MIYU

①1,500円 ②ダイオオCS城北(足立区ツ家 3-27-9)ほか ③(有)三幸(ミュキ) ④アクリルパーツの加工 ⑤足立区東和 5-12-24 ☎03-3629-0331

私だけのつり革

ハンドフレン

①1,750円 ②ビックカメラ全店、アマゾン ③(有)プリント・アート ④アイデア商品開発 ⑤足立区西竹の塚 2-15-21-2F ☎03-5647-0306

デザイン、素材にこだわった作家マスク

手作りマスク販売

区内外の作家さんにつくってもらった布マスクです。

①470円～900円 ②店頭で販売 ③la feuille ④手づくり雑貨の店 ⑤足立区千住仲町40-5 ロークスプラーム アパートメント1F ☎03-3888-1883

大きさは6サイズ！

半透明で表情がわかるマスク

飛沫防止用マスク

カラーは黒、銀、無色の3色。
①3枚600円+送料346円 ②電話・HP 問い合わせフォームより ③東京パック(株) ④プラスチック成形によるパッケージ販売 ⑤足立区西伊興 1-18-4 ☎03-3899-8201

1台1台オーダーメイドで製作

アクリルパーテーション

ふだんの製造技術を生かして製作。足立区役所に170台を寄贈した。
①8,800円～②受注生産 ③(株)横引シャッター ④シャッター製造 ⑤足立区綾瀬 6-31-5 ☎03-3628-4500

つばが飛ばない歯みがきにチャレンジ！

歯みがきうさぎ

紺色の面を汚さずみがければOK！

歯みがき豆知識もわかる！

歯のマスクケース

内側に抗菌加工されたマスク入れ。
①無料 ②足立区役所南館2階で配布(なくなり次第終了) ③足立区衛生部データヘルス推進課 ④足立区中央本町1-17-1 ☎03-3880-5601

このページに掲載の価格はすべて【税別】です。

地域愛をつむぐ 沿線グラス



地域愛をつむぐ沿線グラスの物語には
たくさんの方が関わっています。
関わったそれぞれの人にもたくさんのお話が。
ここでは3つの物語をご紹介します。

居酒屋が「あだち産野菜」も売るマルシェに

一歩一歩マルシェ

千住中心に13店舗を展開する居酒屋の一歩一歩グループ。この春、「今限定のテイクアウトより、コロナ後に来ていただける店にいかにか成長するか」を毎日考え続けた。食材、メニューを見直すとともに、居酒屋1店をマルシェに変えた。質にこだわった素材の数が驚くようなリーズナブルな値段で並び、「食卓に魚が並び日が増えた」という地域住民も。「足立にこんなおいしい野菜があったことも改めて知った。地元を向ける機会になり、地元でやりたい夢が生まれました!」(大谷さん)。

一歩一歩マルシェ/魚屋ツキアタリミ1階
足立区千住3-54 ☎03-6806-1043



質と価格にこだわった魚、野菜、肉が並び



肉もあるよ!

(株)一歩一歩 代表取締役 大谷順一さん



おかげさまで5周年。新しいサービス「読書でらこや」もスタートしています!



全国から参加者が集まるオンラインイベント



(株)センジュ出版 代表取締役 吉満明子さん

新たなつながりがうまれた!

リアルからオンラインへ

イベントなどを通じて丁寧に本を届けてきたセンジュ出版。コロナ禍を前に2週間、何もできなかった。「倒産するにしてもやれることは全部やろう」と思い直し、動画配信を独学で学び、リアルからオンラインへ。オンラインの文章講座「文章でらこや」や著者の人となりを知ってもらった対談の毎週配信などをスタート。国内各地や海外の方など普段参加できない方たちと出会い交流できたのは望外の喜びだった。通販も強化している。

(株)センジュ出版
足立区千住3-16 ☎03-6337-3926



ホームページも一新。通販サイトも充実させた

新しい チャレンジ。

休業中にプリンの商品開発!

はれてまりプリン

てまりのようにコロコロ丸い瓶に卵の風味豊かなプリン。コロナ禍に直面し店を閉めた期間、手のあいたスタッフで取り組んだのがこの商品開発。足立区は北からの玄関口で、何かと東北と関わりが深い。東北出身の2人は、東北のてまり文化を継承しようと取り組んできたが、「てまりファンを増やす」ことに狙いを定め、てまりをイメージさせるプリンを企画した。「店に来てもらうのが難しいなら、出ていく」と、7月1日~7日、北千住マルイの催事でお披露目、7日間でなんと1,500個を販売した。

はれてまり工房&はれてまりカフェ
足立区千住東2-5-14 ☎03-5284-8232



(株)はれてまり

はれてまりプリン1個420円(税別)
はれてまりカフェで購入可



プリンおいしいですよ!

はれてまり工房代表 植村昭雄さん(右)
館長 佐藤裕佳さん(左)



(右から)ブエドバルの酒瓶と沿線グラス/ムスブ田町にオープンした千寿 一歩一歩で使われている沿線グラス/全国の沿線グラスが生まれはじめている



沿線グラス1,800円(税別)
購入はオンラインのみ



空気以外なら何でも印刷、を実現する立役者「パッド」を手にする(株)安心堂 代表取締役 丸山有子さん

(株)安心堂
足立区江北3-21-6 ☎03-3896-6181

沿線グラスのFacebookページにはこんなメッセージが書かれています。
地元をつなぐコミュニケーショングッズ、愛すべき地元の人たちがつなぐ、楽しい時間をともに過ごすことができたらいいな。そんな願いをのせてのづくりに励んでいます。
牛田・竹ノ塚間を結ぶ路線を描いたグラスでは、普段、話題になりにくい、小菅、牛田などの駅を最寄りとする人々からの反響が大きかった。小さな駅でも住んでいる人がいるし、それぞれにストーリーがある。今は、地震、台風、コロナ、思いもよらない災害に見舞われることも多いが、地域がつながってれば何とかなるのではないかな。
丸山さんには「沿線グラスで日本全国をつなぐ」という新しい人生の目標ができたと言った。自分のまちの沿線グラスをつくりたいという思いのある人たちが、一つひとつグラスをつくりはじめているが、これからは全国各地の沿線グラスを増やしていきたいのだと話してくれた。

好きなんだ。地元愛、すげー!」と思いました(丸山さん)。
こんな時期だからこそ、自己中にマスクやティレットパーカーを買い占めるのではなく、助け合う気持ちがあれば、何とかこの苦難を乗り越えられるんじゃないかと思いついた。丸山さんに相談して、あらためて、いくつかの路線の沿線グラスをオンライン販売するネットショップをオープンした。オープン後、ぞくぞくと注文が舞い込んでいる。千住地域を中心に計13店の居酒屋を経営する(株)一歩一歩代表取締役の大谷順一さんからは、9月1日にオープンする、ムスブ田町の千寿「一歩一歩」で使用したいと、200個の沿線グラスの発注をもらった。
地域をつなぐ。日本をつなぐ。

みなな足立区、好きなんだ
このころ話題の「沿線グラス」は、もともとは草加の「野菜とお酒のバル」の依頼でつくったものだ。前年、吉満さんが事務局を務める「千住紙ものフェス」で出会ったデザイナー栗原由子さんから紹介された。栗原さんのデザインで仕上げた、草加と北千住を結ぶ路線が描かれたグラスは「スバル」を中心に話題となり、「スバル」での販売が始まると、購入した人が「おぼろげグループ」足立区いなっ!に投稿。それがグループ上で話題となり、「欲しい!」という人が続出。
「すごく盛り上がったんです。私自身、足立区で育ってきて地元が大好きでしたが、今でもヤンキーのまこと言われたり、悪く言われがち。でも、その様子を見て、『みんな足立区、好きなんだ。地元愛、すげー!』と思いました(丸山さん)。
こんな時期だからこそ、自己中にマスクやティレットパーカーを買い占めるのではなく、助け合う気持ちがあれば、何とかこの苦難を乗り越えられるんじゃないかと思いついた。丸山さんに相談して、あらためて、いくつかの路線の沿線グラスをオンライン販売するネットショップをオープンした。オープン後、ぞくぞくと注文が舞い込んでいる。千住地域を中心に計13店の居酒屋を経営する(株)一歩一歩代表取締役の大谷順一さんからは、9月1日にオープンする、ムスブ田町の千寿「一歩一歩」で使用したいと、200個の沿線グラスの発注をもらった。

仕事がんばり、途絶えた日
2020年の2月末、仕事の依頼がぱたりと、途絶えた。パッド印刷という、どんな小さなスペースでも曲面でも、1個から印刷ができるという技術に秀でた安心堂では、イベントグッズやアーティストグッズ、ノベルティなどの仕事が多く、コロナによる打撃は壊滅的だった。
父のあとを継ぎ、社長に就任したのは2020年4月1日。会社を続けるべきなのか、たまたま道を選ぶべきなのか。印刷ってそもそも何のためにあるのか。私たちの仕事って、生きるうえで必要じゃなかったのか。静まり返る工場でそんな思いにとらわれる日もあったという丸山さん。
しかしある日、千住で居酒屋「ブエドバル」を営む植村昭雄さんから依頼が舞い込む。酒造販売の許可をとるので酒瓶50本に印刷をしたい、それも許可が下りる月曜日までに、コロナ禍をアイデアで乗り切ろうとする飲食店の熱い思いを受け、何とか納期限内に仕上げたいと思い、がんばったという。そして、納品。ものすごく喜ばれた。「短時間でよくやってくれた。助かったよ。」
そのとき、父のモットーだった「人を喜ばせる喜び、父のあとを継ぐときに考えていた」人の幸せにつながるが印刷という自分の思いが、間違っていないことを実感したという。
その後、センジュ出版の吉満明子さんから、コロナ禍で強化したオンライン販売用のタンブラーへの印刷依頼があった。また、吉満さんからは、オンラインで買ってくださったお客様への郵送時に「安心堂のチラシも同封しますよ」という申し出もあった。できることで支え合おうという姿勢に感銘を受けた。
こんなときでも足立区にはがんばっている人がいる。その人の役に立てたこと。支えあえたこと。それが、丸山さんを次の一歩へと駆り立てた。

コロナに負けない！
児童を見守るパトロールの活動も続けています。



reskの新里原良さん(左)resk会長の石鍋明夫さん(右)

食を通じてエールを届ける商店会

六町つながるプロジェクト

「コロナ禍の中、つながり、助け合うことで六町のまちにエールを届けたい」。いつもの「六町100円食堂」が開催できない代わりに、商店会の飲食店の協力で、100円弁当「キッズランチ」を提供。また、デリバリー対応していない飲食店に代わり、商店会の有志や会長自らお弁当を届ける「六町エール飯」など、大変な今こそ、つながりを途絶えさせず、まちへの思いを形にする“今できること”を次々展開中。

六町駅前商店会 resk
 ▲ 足立区ツツ家3-27-9(ダイオース内)
 ☎ 03-3858-8694



金曜日にデリバリー実施中！
六町エール飯をぜひ！

自分たちの足で
お店をまわりました！



(株)オプティ 代表取締役社長 渡辺浩司さん



渡辺さんがデザインしたポスターは千住のあちこちで見かける。写真は銀鮭専門割烹ウチワラベ

千住を盛り上げたいから

テイクアウト店応援&エコバリア

コロナ禍の千住地域を何とかしたいという思いから、テイクアウトメニューがある飲食店を自分の足で回り、自社でデザインした「テイクアウトOK」ポスターを貼ってもらうとともに、テイクアウト店を集めたウェブサイトを4月3日に開設。その数69店舗。7月中旬からは、安心して店に来てほしいとの思いから、抗ウイルス・抗菌コート剤でテーブル等をコーティングしてウイルスを除去する「エコバリア」を格安で施工。今後、千住の十数店舗に無償で提供、地域活性の足掛かりにしたい。

(株)オプティ
 ▲ 足立区千住3-1川戸ビル1F ☎ 03-5284-7613

飲食店を応援。

親子で楽しめるプログラミング教室もやっています！

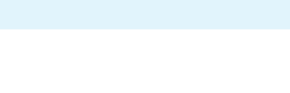


10 ITのチカラで飲食店と区民をつなぐ

テイクアウト店をWEB地図に

IT関連のスキルを持つ仲間が集う「Code for Adachi」。目指すは、ITを活かし地元足立を暮らしやすく楽しくすること。区ホームページ「足立区出前&テイクアウトのお店」の店舗一覧をもとに、得意のIT技術を駆使。全店舗の情報をネットの地図上に描き入れ、近所の店が一目でわかる便利マップを提供した。

Code for Adachi



Code for Adachi代表
村上武士さん

ふみだそう。 新たな一歩を。 あだちから。

インタビュー全文はコチラから。
毎週少しずつアップしていきます。



“人として”“木曾さんちゅうとして”できることを！

足立区校歌リレー & 足立区のグルメ動画配信

「こんなときこそ、ポジティブにSNSを使おう」と熱を込める。外出自粛が続く中、不安な日々を過ごす人や、ネットでの誹謗中傷に傷つく人を元気づけるため、代表を務める「足立区で歳を重ねるパートナーズ」で、オンラインによる「足立区校歌リレー」をスタート。学校の教職員全員が参加したパフォーマンスには感動した。10年ぶりに同級生に声をかけて作られた動画も良かった。校歌が人をつないだ。「全小中学校をコンプリートしたらフェスをしたい」。また、仕事がストップしたこの春、個人でも飲食店を応援するため、出演・撮影・編集すべて無料の「足立区のグルメを盛り上げよう」動画も配信。「お世話になっている足立区で、僕なりにできることを」。

足立区校歌リレー



足立区のグルメを盛り上げよう



芸人「足立区で歳を重ねるパートナーズ」代表の木曾さんちゅうさん

「足立区校歌リレー」にみなさんもぜひ参加してください！



応援は、応援を呼ぶ！



左がトネリライナーノーツ編集長の
大島俊映さん(全學寺副住僧)。
奥様、お子さんと

舎人エリアの情報を発信するWebマガジン

トネリライナーノーツ

連載「新型コロナウイルスに負けない!地域のしなやかな女性たち」の他、グルメ情報など、20~30代メンバーの若い感性で取材。本や雑誌で紹介されない日暮里・舎人ライナー沿線の魅力を発信、コロナ禍に直面する地域を応援してきた。このまちで生まれ育ち、地域の人に育てられたと言う大島さんは「夢中で何かに取り組みむ人を、応援する人がいる」コミュニティづくりを目指している。



トネリライナーノーツ

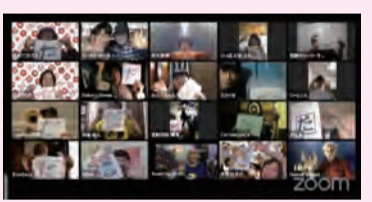


オンラインでアートを発信!

メモリア学校の屋やすみ&千住だけじゃれ音楽祭

区民参加型のまちなかアートプロジェクト「音まち千住の緑」。10年目を祝う大規模イベントが全て中止となる中、イベントを支える区民スタッフの発案で、おうち時間を楽しく配信動画「メモリア学校の屋やすみ」が誕生。無数のシャボン玉で風景を変える「メモリバ」から発想を得た遊びが人気だ。海外アーティストが参加したオンラインの「第4回だじゃれ音楽研究大会」では全世界から900回を超える視聴があった。

アートアクセスあだち 音まち千住の緑
 ☎ 03-6806-1740 (13~18時 火・木除く)



オンラインで大勢の人が参加した

音まち事務局のメンバーの今井由代さん、西川汐さん、吉田武司さん、櫻井駿介さん、長尾聡子さん(左から)、仲町の家で

詳しい情報はホームページで!



2538kitchen DELI-coupe店長 富井真介さん

飲食店にできることは飲食だけではない

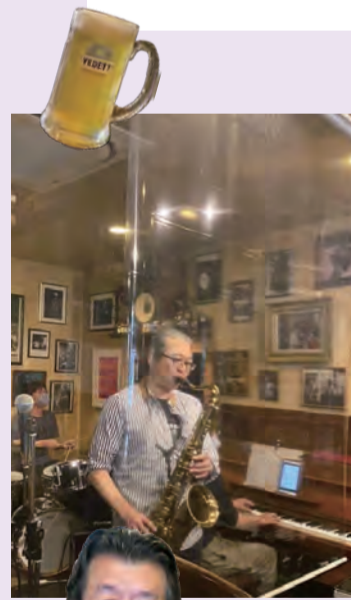
子ども弁当を250円で

学校の一斉休校をうけ、すぐに子ども弁当を1食250円でスタート。国からのマスク配布後は、マスク1枚割付で20円の割引を実施し、マスクを必要としているところに届けた。「飲食店にできることは飲食だけではない」をモットーに、決して楽ではないと言いながら、まちを盛り上げるために様々なアイデアに取り組む。

2538kitchen DELI-coupe
 ▲ 足立区千住4-19-16 ☎ 03-3870-5600



1食250円で売られた子ども弁当



Birdlandマスターの森川久生さん

どこよりも早く感染症対策!

コロナ対策を徹底

カウンター & テーブルにパーテーション。ジャズライブ開催時には、お客様とミュージシャンの間に下げるロールスクリーン。「どこよりも早く感染症対策をしよう」と、区内企業(株)オーエムなどに依頼し、6月には設置を終えた。各席には手指消毒剤も。お客様・ミュージシャンが安心して来店できるよう対策を徹底した。コロナの影響で苦しむ若手ミュージシャンの支援も行き、千住の文化の火を消さないために奮闘中。そんな中、来店が難しくなった常連さんが、ボトルの金額を先に入金する「バーチャルボトル」を入れ応援してくれたそうだ。

Jazz Live Bar Birdland
 ▲ 足立区千住1-31-8 ☎ 03-3888-1130

11月14日、15日に
30周年記念イベント開催。
オンライン同時配信もやります!



二晩煮込んだ牛すじカレーは絶品♪ランチあり

店にできること。



右がHanayue店長の群上香さん

おうち時間が増えたご家庭に、お花でリラックスしてほしい。



毎週自宅にお花を届ける「お花の定期便」もやっています

13 お花を通じて、笑顔と元気を届ける!

Stay Flower Home

「母の日」がある5月に始めた「Stay Flower Home」キャンペーン。お花を届け、コロナ疲れを癒していただくとともに、その売上金全額を、コロナの影響で苦しむ方に寄付した。支援団体を通じ、100名のシングルマザーにもお花を届けた。お花を手にした方がSNS投稿することで「Hanayue」の活動が知られて、社会の助け合いの輪が広がる一助になればと、全額持ち出しとなったが実施した。

Hanayue
 ▲ 足立区千住1-27-1 ☎ 03-3882-8711



仕掛け人 & いろりの杜住人
くまがいけんすけさん(左)つじまりさん(右)



あだちクラフトマンヒーローズ 不定期オンライン開催

まちを知り、暮らしをもっと豊かに!

あだちクラフトマンヒーローズ

1964年に生まれた団地が、いろんな「つくる」を実現するユニークな住まいに生まれ変わった。「まちに開かれた」場を目指し、様々なイベントを企画していたがコロナ禍で延期。地域でものづくりをする人、クリエイティブな活動をする人に話を聞くオンラインイベントをスタートした。「イベントのたびに足立のまちが「自分ごと」になり、暮らしが豊かにアップデートされていく。イベントを通じて、まちを楽しむ人が増えていくといいな」と、仕掛け人のお二人。

いろりの杜(主催)
 ▲ 足立区東綾瀬3-8-24
 はじまり商店街(協力)



25 つもる話がとまらない!

高齢者巡回パトロール

70歳以上の高齢者を孤立させないという思いから、昨年12月に定期的に高齢者宅を見回る「梅田東町自治会見守会」を発足。1回目の活動後はコロナのため中止していたが、「外出自粛が続いた今こそ見守りが必要」と、7月にはいち早く活動を再開。人と会う機会が減っていた高齢者。自治会メンバーの訪問に話かとまらない人が大勢いた。敬老の日には赤飯を配るなど、あらゆる機会をとらえて高齢者を見守る。

梅田東町自治会
 ① 足立区役所 地域のちから推進部 絆づくり担当課
 ② 足立区中央本町1-17-1 ☎03-3880-5184

24 誰かがやらないと

団地内全820世帯へチラシ配布

外出を控え自宅に引きこもる高齢者。「団地に住むみんなは大丈夫か」「誰かが動かないと」。見守り活動を長年続ける自治会メンバーが、まず高齢者のふれあいの場「サロン絆」の利用者宅へ見守り訪問。品切れが続くティッシュペーパーなど物資も配布。コロナと熱中症予防を呼び掛けるため、8月には全820世帯への注意喚起チラシの配布も行った。

六木団地自治会
 ① 足立区役所 地域のちから推進部 絆づくり担当課
 ② 足立区中央本町1-17-1 ☎03-3880-5184

26 銭湯と農家と足立区民をつなぐ!

農家支援でカボス湯

コロナ禍で販売イベント等が中止になった大分県白杵市のカボス農家を支援しようと、9月27日、足立区の銭湯29軒がかぼす湯を実施した。お客様からは「カットされたカボスの香りがすごく良かった」「肌にもよさそう」と好評だったという。銭湯と農家をつないだのは、足立区の古民家で地方と都市を結ぶ活動をしているKAZENO HITO。足立区の銭湯とはふだんから連携し、SDGsや農家支援の観点からも豪雨災害に遭ったりんごを使ったりんご湯など、双方の活性化につながる企画を実施している。

KAZENO HITO
 ① 足立区弘道1-14-10

23 思いやりとおいしいが詰まった「弁当」でほっこり

あだち配食サービス

千住に越してきて6年。外に出て人と話するのが好きという三宅良一さん(90歳)は、地域のボランティア活動などで充実した日々を送っていたが、仲間との交流は電話だけに。そんな三宅さんの楽しみは、月曜から金曜まで頼んでいる「ペコペコ亭」の弁当だ。配達する東京藝術大学千住キャンパスの学生らとの何気ない会話で元気になる。高齢者を見守る役割もある配食サービスだが、「気をつけて帰ってね」と声をかける三宅さんもまた、学生たちを温かく見守る。「特別なものが入っているわけじゃないけど、とてもおいしい。心を込めて作っているのがわかるから、3年半食べていても飽きない」と三宅さん。お腹も心も満たす弁当が長生きの秘訣かも。

ペコペコ亭
 ① 足立区千住寿町20-5 ☎03-3882-0863

27 中学生ができること

手作りマスク1,000枚寄贈

いろいろな柄でつくりました!

子どもたちに届けたマスク

足立区立測江中学校3年 稲子彩さん

28 栄養バランスにこだわります

あだち子ども食堂 たべるば

① adachitaberuba@gmail.com ☎080-7000-7380

冬休みもお弁当を届ける予定です

あだちから PRESENT

足立にまつわる嬉しいグッズをセレクト!

3名 沿線グラス
 提供(株)安心堂

5名 浅草迄
 著:北野武
 提供(株)河出書房新社

10名 足立LOVEセット
 絵はがき、メモ帳、など

簡単なアンケートに答えてくださった方の中から抽選でプレゼント! 応募はこちらから

28 今できること。

ママさんパワーで1,050枚!

みんなでマスクを作ろう大作戦

足立区体育協会加盟団体が一丸となり、練習ができない時間を活用してマスク1,050枚作成。中でも、女性会員が多いバレーボール連盟が奮闘。高齢者福祉施設などに寄贈した。「これなら私たちにもできると思いました。誰かの役に立つことができて楽しかった。すごくいい経験でした!」(バレーボール連盟の浅野礼子さん、駒田美智子さん)。

(公財)足立区体育協会
 ① 足立区中央本町1-17-1 足立区役所内 ☎03-3880-5916

ウエルガーデン伊興園にマスクを届けた写真提供:公社ニュースとめり

コロナ禍で新しい一歩を踏み出す人、団体、企業の情報を募集しています。下記までお寄せください。
 足立区シティプロモーション課 city-pro@city.adachi.tokyo.jp

27 夢のお菓子はどんな味!?

あだち夢のお菓子コンテスト

休校が続く子どもたちに、楽しく充実した時間を過ごしてほしいと、小学5・6年生を対象に夢のお菓子のアイデアを募集。271の作品が集まった。さらに! 夢を集めただけでは終わらない。区内菓子製造業者が協力し、一部作品の製品化を実現。グランプリ、準グランプリに輝いた「夢のお菓子」など9作品を10月24日・25日の「あだち菓子博2020inアリオ西新井」で販売した。

足立成和信用金庫 営業推進部
 ① 足立区千住1-4-16 ☎03-3882-3246

26 印刷会社が子どもたちの巣ごもりを応援!

丸庄ができることプロジェクト

「こんな時こそ社会貢献。お客様の記憶に残る活動を」をスローガンに、4月から「丸庄ができることプロジェクト」を開始。子どもたちの巣ごもり生活の楽しみをつくらうと社員一丸となって考えた。第1弾は塗り絵と、大きい紙に描いてほしいという思いから、A1サイズの白紙を子どもたちに無料提供。プロジェクトは第4弾まで実施。「今後も人の移動が抑制される事態となればプロジェクトを再始動したい」。

(株)丸庄
 ① 足立区千住4-16-12 ☎03-3881-2131

21 “たべる”を届け “ヨリドコロ”を築く

休校中&夏休みお弁当プロジェクト

普段開催している子ども食堂が開催できない。学校の休校で給食を食べられない子どもたち。ちゃんとご飯食べているのだろうか…。見守りを兼ね、自宅に栄養価の高いお弁当957食を届けた。さらに、子どもたちにiPadを無料で配り、オンラインでの居場所も築く。コロナ禍でも食の支援を通じてふれあう機会を創出している。

あだち子ども食堂 たべるば
 ① adachitaberuba@gmail.com ☎080-7000-7380

28 駅を利用する人へ応援メッセージ

火花のメッセージボード

コロナが本格化した4月、新生活をスタートするお客様にメッセージを届けたいという思いで「みんなでがんばろう」という励ましのボードを設置。千住といえば「火花」だが、今年は中止。ならば「感謝の火花を」と、8月には駅を利用する人からメッセージをもらい火花を描いた。大人から子どもまで、「感謝」や「お願い」のメッセージをいただき、なかにはマレーシア語で書かれた「みんな健康で!」の文字も。心のつながりを感じた。「駅が電車に乗るだけの場所だけでなく、街に出るための拠点、目的地にもなるよう、これからも様々なメッセージをお届けしたいです」。

JR北千住駅
 ① 足立区千住旭町42-2

22 大丈夫。ひとりじゃないよ!

ひとり親家庭をサポート

ひとり親家庭をフードバンクでサポート。ピーク時、定員を通常の倍の80人に増やして対応。3密を防ぐため、車での訪問も開始。おうち時間が多くなり、子どもとの関係に悩む保護者が増え、月3件程度だった相談は70件に。「大丈夫。ひとりじゃないよ」を合言葉に、子育て世帯に寄り添う。

(特非)子育てバレット
 ① 足立区梅島3-4-8-203 ☎03-5888-6943

29 一皿入魂!

味も栄養もボリュームも!

あだちの美味しい簡易昼食

ようやく学校が再開した6月。感染症対策で給食配膳を先生が行う簡易昼食が始まった。足立区では、主食とおかずの2皿を1皿に合体させ、栄養バランスとボリューム、おいしさ抜群の献立を提供。メキシカンライスやキムタクご飯など、バラエティー豊かなメニューが評判に。どんな時でも子どもたちがワクワクする給食を作る。それが足立の“おいしい給食”だ。*

足立区役所 学校運営部 学務課 おいしい給食担当
 ① 足立区中央本町1-17-1 ☎03-3880-5427

20 高さ約90cm、1,400袋の土のう積み

荒川土手に土のう設置

昨年の台風第19号では、荒川も氾濫の危険にさらされた。今年も梅雨、台風と水害の危険が否めない中、コロナ禍で避難所の人数制限も見込まれる。特に京成本線の荒川橋梁及び周辺の堤防は他の部分と比べて低い。未然に氾濫を防ぐため、猛暑の7月、68人の職員で一日かけて土のうを積んだ。

足立区役所 都市建設部 企画調整課
 ① 足立区中央本町1-17-1 ☎03-3880-5478

20 区職員も

かんまのひつまぶし&ささみ入りよしの汁

足立区役所の職員もがんばりました